

'68

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 489 号

1969.1.28 (火) 雪

例会場 鶴岡市本町2丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

「参加し、敢行しよう」

11月	地区別順位 5.9位	会員数 65名	出席率 84.92%	前月順位 61位
-----	---------------	------------	---------------	-------------

卓 話 鶴岡市厚生部社会課児童係長
清野 実 氏

出席報告

本日の出席	会 員 数	63名
	出 席 数	43名
	出 席 率	68.28%

欠 席 者 安藤君、平田(圭)君、平田(眞)君、富樫君、石井君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、森田君、岩網君、大竹君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、黒谷君、高橋君、手塚林蔵君、津田君、金野君、阿宗君、白井君

前回の出席	前回出席率	77.78%
	修正出席数	56名
	確定出席率	88.89%

メイクアップ 林君—東京日本橋RC
三浦君—仙台東RC
長谷川君、嶺岸君、森田君、岩網君、中山君—鶴岡西RC

ビジター 本間庄一君—村上RC

ソング 我等の生業 リーダー 三井(健)君
司 会 会長 石黒慶之助君

先週理事会に於いて10周年記念について協議の結果を御報告申し上げます。

創立10周年記念役員

○実行委員長(会長) 石黒慶之助君

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

実行副委員長(次期会長)

○総務委員(現役員並びに委員長)

石黒慶之助君、三井徹君、三井健君、五十嵐一郎、中山一三君、高橋無一君、齋藤得四郎君、平田圭三君、大竹鏗一郎君、五十嵐八郎君、池内方平君、嶺岸光吉君

○式典委員(委員長) 池内方平君

池内方平君、小花盛雄君、三浦岩治郎君、早坂源四郎君、五十嵐伊市郎君、飯白祐佑君、鈴木善作君、鈴木弥一郎君、千葉藤夫君、谷口晴敏君、五十嵐八郎君、手塚林治君、白井重磨君、黒谷正夫君、金野松弘君、上林一郎君、阿宗文雄君、篠原一郎君

○記念事業委員(委員長) 五十嵐一郎君

五十嵐一郎君、五十嵐三郎君、鷺田克己君、新穂光一郎君、池内方平君、阿宗文雄君、佐藤伊和治君、海東与蔵君、安藤定助君

○記念誌委員(委員長) 嶺岸光吉君

嶺岸光吉君、安藤定助君、小野寺清君、齋藤得四郎君、張紹淵君

以上の方々決定になりましたのでよろしく御願ひ申し上げます。

10周年特別会費は1人15,000円。納入時期は2月、3月4月と分割もしくは1割払におねがいたします。総合計110万円位。その内訳として記念誌に400,000円、式典に200,000円、記念事業に500,000円位の目標を検討しております。

☆次期役員選出につき、2月18日(火)の例会を総会にしたいと思っておりますので、よろしくねがいます。

会報はご家族みんなでよみましょう

★国際奉仕・鶴岡市役所総務課長さんから、ニューブランズ・ウィックと鶴岡との交流をはかりたいと市長宛に文書が参っております色々な計画等に対して、市の態度を徴するための答案がきております。

1969年中に1週間位両市の関係ある行事をやったらどうか、との提案がございます。場所はニューブランズ・ウィックで、名称は姉妹都市締結記念式典行事という名称で行事をやる。その催しがたくさんあり、例えば、小・中学校の絵画の展示とか、写真の交換とか都市計画に対する色々な討論とか、日本の映画の上映とか、音楽の演奏、特に市役所としては鶴岡市からは代表出すのは困難ですし、1969の間にクラブ会員で御旅行の予定のある方は市長のメッセージ等代表権限を委託したいというわけで、会員の中で希望の方は連絡して下さい。

★10周年記念社会事業として有意義な事業をやることを市当局が感知して、ロータリーからも補導関係の御支援がうけられればとの考えです。私達ロータリーにも青少年委員会もありますし、又、鶴岡西校や鶴岡高専にインターアクトが活発に活動しておりますし、青少年問題が重大な問題になっております。犯罪の半数は、青少年の犯罪になっているようです。世の中の不良化防止とかの意味で大きなウエートになっており、鶴岡市でも40年から青少年補導センターが設置されております

卓 話 鶴岡市厚生部社会課児童係長

清野 実 君

ただいま、ご紹介いただきました鶴岡市青少年補導センターの清野でございます。

鶴岡市の青少年補導センターは3年前より発足して補導関係者と補導関係団体との合同活動の場となっております。

「補導」は字のとおり、青少年の足らざるところを補い導くもので、大人として愛の言葉呼びかけをして、悪の道に入ろうとするのを思い止まらせようとするものです。

補導委員には中・高校の先生、民生児童委員をはじめ保護司、BBS会員、青少年対策推進員、PTA補導部員等が警察署婦人補導官センター職員とともに街頭に出て日夜補導を行っております。

街頭補導もそれだけで終っては効果も大きいものは期待できません。補導される少年の70%は家庭に問題を持っておりますので、センターに併設されている家庭児童相談室相談員が継続補導にあたって家庭環境の調整をあわせてすすめ、立直りのテンポを早めるようつとめています。

42年度中は約千件の補導で、中心となるのは高校生の年令層で喫煙、不健全娯楽、怠学が多くなっているのは当然ですが、タバコ

ぐらいでかゝと思われるかもしれませんが。そのような考え方が現在の風潮になっているようです。

早期発見、早期治療は医学ばかりではありません、非行防止も心の病いですから同じように云えるのであります。

非行も初期症状から次第に悪化して行く過程によって処理するところが違ってきます。カゼをひいたと思ったとき「クシャミ3回ルル3錠」と鶴岡薬局（ロータリー会員）へ行って薬を買ってのみますが、それでも症状が進行すると小花先生（ロータリー会員）のところまで診察を受けて注射、投薬してもらい自宅で静養することになります。重症になれば入院でしょう。

例え話して恐縮ですが、ルル3錠が補導センターの役割であると、ご理解いただきたいと思ひます。

ケースの実例としては、海水浴シーズンも最盛期を迎えた日、由良海岸から、すこしはなれた香頭が浜の砂浜も、途中で暮れようとする頃、小さなテントの中で高校生男女2組の不純異性交遊を発見、補導……。

帰宅させるにも交通機関も無くなった時間なので、補導委員の乗用車に乗せ、一度は偽名のため、羽黒町まで行きましたが、本当の住所が市内であり、それぞれ各家庭に送り届けたのです。届け終って解散した時は、時計の針も11時を過ぎていました。

高校補導担当の先生に事後指導をお願いしたのでありますが、1人の女生徒は「自分の体が自分でないような気持ちになっていた、補導されて我にかえった。私はこのグループから離れようとしたが、あのとき一緒にの女生徒からリンチを加えられ、ひきもどされていた」と告白していました。

この女生徒は、その後立直り、無事に就職することができました。

これをふりかえりますとき、もう1時間、否30分遅かったなら、この女生徒の人生は暗い道を行っていたのではないのでしょうか。

このときほど機動力の必要性を痛感したときはありませんでした。

週刊誌にぎわすドギツイ記事を思わせるようなことが東北の片隅で行なわれていたのです。

全国的な傾向ですが非行の場所は郊外へ郊外へと及び、都市間の距離も交通機関によって縮められつつあります。

若者達がマイカーで騒声とともに立去る街角に、今日も補導委員は黙々と歩き続けているのです。

献 立

さしみ—平日

ひたし—ほうれん草、胡麻あえ味噌汁—鱈